

はまY_{OU}



Vol.
35
2017.春号

ご自宅と病院を結ぶ送迎サービスを行っています

CONTENTS

理念・基本方針	2
院長挨拶	2
新採用医師のご紹介	3
診察室から～泌尿器科のご紹介～	4～5
インバウンド健診を実施しました	6

各部署から ー南紀白浜温泉リハビリテーションセンターのご紹介ー	7
2016年度院内研究発表大会を開催	8～9
送迎サービスを行っています	9
和歌山県DMATロジスティクス研修を開催	10
白浜はまゆう病院・白浜町合同給水訓練	10

管理栄養士のおすすめレシピ	11
患者さまからの声	11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

泌尿器科外来

診療日／月・水曜日 午前・午後
火・木・金 午前

受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

担当：かわしま ひでのり
川嶋 秀紀 部長
きむら やすのり
木村 泰典 医長

小児科外来

診療日／月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前

受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

担当：ふるくぼ かずひろ
古久保 和洋 医長



薬剤師・看護師 募集中
作業療法士・言語聴覚士

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域その他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだに
みんなが、
いっしょに



院長挨拶



平素は白浜はまゆう病院に格別の御厚情を賜り誠にありがとうございます。

さて、ここ10数年、病院運営には厳しい状況がずっと続いております。今年は酉年、大きく飛翔の年としたいのはやまやまですが、先日、とある本屋さんで見つけた昨年11月20日発行の新書「医学の勝利が国家を滅ぼす」、12月5日にはすでに2刷となつております。その帯にあった言葉、“命の値段はプライスレスか/コストを気にしない医師たち/後期高齢者にどこまで医療資源を使うか/生きがいは病気?/、、云々”。また、昨年、厚生労働省は、売り上げが非常に大きい医薬品に対して半ば強制的に薬価引き下げの方針を打ち出しました。このような状況をみますと次の診療報酬改定も飛躍的に好転するとはとても期待できません。さらには、これからさらに進むであろう少子高齢化、人口減少に対応して策定された田辺保健所圏内の病床数を3分の2程度まで削減する構想への対応、廃止が決まっている介護療養病棟に対する転換問題、災害発生時にも十分機能する病院であるための具体的な対策等々課題は山積しております。一つ一つ解決に向かって奮励してまいる所存でございますので、今後とも御指導御鞭撻の程よろしくお願いいたします。

白浜はまゆう病院
院長 谷口 友志

新採用医師のご紹介 ～乳腺外科の診療を始めます～



こ かわ よう ぞう
粉川 庸三 医師 | 乳腺外科

－ 資 格 －

日本外科学会外科専門医, 指導医
日本乳癌学会乳腺専門医, 日本乳癌学会乳腺指導医
日本がん治療医認定医機構 がん治療認定医
検診マンモグラフィ読影認定医師

－ プロフィール －

平成 6年3月 和歌山県立医科大学卒業
平成 8年4月 紀北分院外科臨床研究医
平成12年1月 和歌山県立医科大学第1外科臨床研究医
平成13年4月 和歌山県立医科大学第1外科助手
平成17年4月 南和歌山医療センター 胸部・心臓血管外科
平成24年4月 和歌山県立医科大学第1外科講師

今年の4月から白浜はまゆう病院乳腺外科に勤務することになりました粉川庸三と申します。

今までは和歌山県立医科大学第1外科の講師として、外来や手術などの乳がん診療に加え、学生と若手医師の教育や乳がんの研究を行っておりました。大学の講師としての目的は乳腺外科を目指す若手医師たちを一人前にすることでした。自分が身につけた技量を多くの若手に伝達することです。大学での5年間で指導していた若手医師たちも十分な実力を持ち、徐々に独り立ちできるようになりました。いろいろな業務も彼ら、彼女たちが自分たちで考えて行えるようになり、私の仕事量はそれに伴い少なくなりました。非常にうれしいことなのですが、臨床から離れてしまうのが寂しくなりました。

改めてこれからの人生で何ができるかを考えたとき、紀南地域の乳がん診療への協力に至りました。何時間もかけて和医大まで受診される患者さんが多数おられる現状もなんとかならないかと考え、院長のご理解を得て新宮市立医療センターへ週1回の診療に出させて頂くように致しました。微力ながら紀南地域の乳がん診療の底上げになればと考えております。

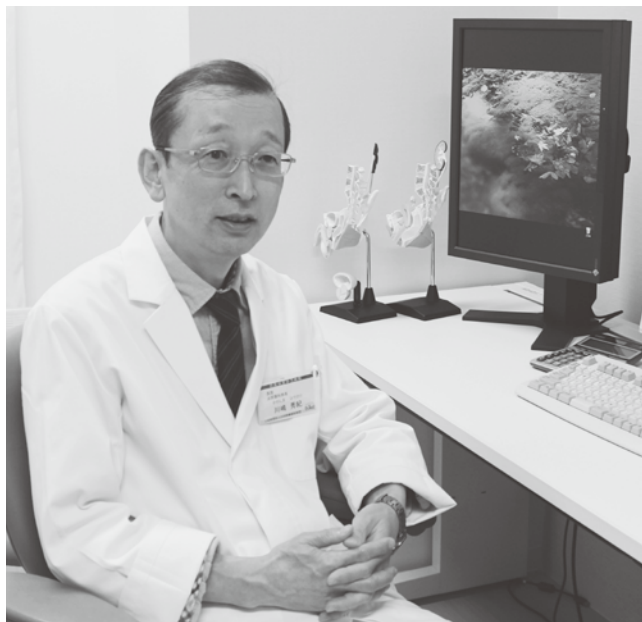
以前は田辺市の南和歌山医療センターに勤務しておりましたが、今回はご縁があり、白浜の地に参りました。このたび乳腺外科を開設するにあたり、多くの方々のご協力を得たことに感謝します。乳がん診療は一人ではできません。患者さんにかかわる全てのスタッフのお力が必要です。乳腺外科チームへの協力をよろしくお願い致します。

●4月10日より外来診療を開始します●

診 療 日 月・火・木・金曜日 午前中
受付時間 午前8時30分～11時30分

診察室からのお話

～泌尿器科のご紹介～



川嶋 秀紀 泌尿器科部長

2014年の夏より、木村先生と私（川嶋）の2人体制となってから2年半になります。受診される患者さんもだんだん増えてきて、地域の皆様に頼りにして頂いていると、有難く思っています。また患者さんの中には、白浜町内のみならず、御坊、本宮、すさみ、古座川からお越しいただいている方もいます。

鮎川、日置の診療所では、泌尿器科のプライマリ的な診療や、手術後のフォロー、前立腺がんに対するホルモン療法を行っており、こちらも徐々に受診される方が増えてきました。特に最近、日置診療所での患者さんが増えてきて、この地域の皆様のお役に立っていると思っています。

診療内容を以下にまとめます。

前立腺肥大症、過活動膀胱、その他排尿障害

ご高齢の方で、排尿障害や頻尿や尿漏れで受診される方がとても多いことに改めて気づかされました。男性では前立腺肥大症、男女とも過活動膀胱の患者さんが多く、治療で楽になったと喜んで頂いています。多くはお薬による治療です。

また、脳梗塞や神経疾患で排尿障害を来した方の受診も多く、ウロダイナミクス検査という専門的な検査を必要に応じて行い治療をしています。

尿管結石

尿管結石は非常に痛い病気です。多くは内服治療で自然に結石が出ますが、手術が必要な場合もあります。当院には体外衝撃波破碎装置はありませんが、内視鏡手術で結石を破碎・摘出しています。内視鏡やレーザー破碎装置は整っており、患者さんの術後の経過は良好です。

腎がん、腎盂尿管がん

当院の検診の腹部超音波検査で腎がんが数例見つかりました。腹部のCT検査で偶然見つかった腎がんもありました。腹腔鏡手術を行い、皆さまで再発なく良好な経過です。腎盂尿管がんの患者さんも少数来院され、腹腔鏡手術を行いました。

膀胱がん

血尿が初発症状の場合が多いです。多くは経尿道的に腫瘍を切除する内視鏡手術で、入院期間も短く術後の膀胱の機能障害ありません。最近この手術が続きました。再発予防にBCGを膀胱内に注入することがあります。

一部の膀胱がんでは、経尿道的手術ではがんを全部取り切れないために、膀胱を摘出してストーマを作る手術を行うことがあります。当院でも今までに5例でこの手術を行い、現在のところ皆さん再発なく経過は良好です。2例で術前に抗がん剤治療を行いました。

前立腺がん

日本でも患者数がどんどん増えていますので早期発見が大切です。PSA検査という血液検査でスクリーニングします。この血液検査で前立腺がんの疑いがあると、超音波検査やMRI検査を行います。そして、針をさして前立腺組織を採取する検査（「前立腺針生検」と言います）が必要かどうか判断します。当院でも「前立腺針生検」を受けられる患者さんが多くなっています。一泊二日で行っています。

組織検査でがんが見つかり、がんがリンパ節や骨に転移していないか調べます。がんが前立腺の中から外に出ていない場合は手術や放射線治療が必要です。ロボット手術をご希望の方は和歌山県立医科大学病院に紹介しました。放射線治療は南和歌山医療センターにお願いして強度変調型放射線治療装置で治療して頂いています。治療後は、多くの方が定期的な診察を当院で受けておられます。

また、ホルモン療法を受けている患者さんも増えてきました。ホルモン療法が効かなくなった患者さんの中には抗がん剤治療を行った患者さんもいます。

女性の腹圧性尿失禁

咳やくしゃみで尿が漏れる病気を腹圧性尿失禁といいます。「骨盤底筋体操」という体操をしてもらったり、お薬で治療したりしますが、重症の場合は「TVTスリング手術」という手術を行うことがあります。当院でも手術を行いました。症状の再発はなく根治した状態が続いています。

女性の骨盤臓器脱（子宮脱、膀胱脱）

まだ、本邦ではあまり普及していない「腹腔鏡下仙骨陰固定術」を一人の患者さんに行い非常に良好な結果を得ています。

その他、膀胱炎、前立腺炎、腎盂腎炎などの感染症、尿道炎などの性感染症の患者さんも来院され治療させていただきました。

今後とも地域の皆様に、幅広く質の高い泌尿器科の医療をご提供すべく努力する所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

【泌尿器科 診療担当表】 受付時間：午前 8時30分～11時30分 午後 1時30分～4時30分

		月	火	水	木	金	土
初再診	午前	木村	木村	川嶋	木村	木村	担当医
	午後	川嶋	—	木村	—	—	—
専門外来	午後	—	川嶋※1	—	—	川嶋※2	—

※1 泌尿器癌相談外来 ※2 神経因性膀胱・女性泌尿器科

インバウンド健診を行いました

中国人の間で日本旅行がブームになる中、医療ツーリズムに興味を示す人が増えてきております。医療ツーリズムとは、病院で検査や診察など高度な医療技術及び医療行為を受けることを目的として外国に渡航するものです。

白浜はまゆう病院では、試行的に2016年11月11日（金）、12日（土）の2日間にわたり、インバウンド健診（訪日外国人健診ツアー）を実施しました。中国山東省の中国威海方正国際合作有限公司が募集した男性5名、女性6名の計11名が、関西の観光旅行にあわせて7日間の予定で日本を訪れ、期間中の2日間、人間ドックを受診しました。

健診1日目は、谷口友志院長の歓迎挨拶後、当院で勤務している中国人看護師が通訳を担当することで、リラックスした雰囲気の中、健康状態の確認、受診上の注意事項、問診票の記入等の説明を行いました。

その後、順次、ストレスを感じさせないよう中国人看護師がマンツーマンで案内し、頭部MRI、胸部X線、心電図及び腹部超音波検査等を行い、女性には乳がん検査及び子宮がん検査を追加実施しました。

健診2日目は、胃内視鏡検査及び内科診察を行い全ての項目を終えました。

内科診察には、医療通訳を中国人看護師が担い、結果説明と質問に丁寧な対応を行いました。

終了後、松尾晃次顧問から「健診を受けて頂くことにより病気の早期発見と早期治療に役立てて頂きたい。中国から皆様をお迎えすることができたご縁を大切にしたい。来年、皆様とお会いしたいです。」と挨拶いたしました。

アンケートには「診察結果の説明はわかりやすく親切。スタッフが優しく、不安を感じることなく検査ができ、よかったです。」などの感想が寄せられました。



問診票を記入する受診者の皆さんとアドバイスする当院の中国人看護師

各部署から

～南紀白浜温泉リハビリテーションセンターのご紹介～



天井歩行式免荷装置を設置し、脳卒中後などの自立歩行が困難な患者様の負担軽減を行っています

リハビリテーションセンター統括室長 中本 佳代子

南紀白浜温泉リハビリテーションセンターは、本館2階に約400㎡の理学療法室、作業療法室があり、言語聴覚療法室は5室備えております。

地域に根ざした、質の高いリハビリテーションの提供をモットーに、理学療法、作業療法、言語聴覚療法などの技術を駆使して病気やけがで障がいの残った方々の家庭復帰、社会復帰のお手伝いをしています。発症後間もない方から、発症後2ヶ月～6ヶ月の回復期の方（365日実施）、6ヶ月以上経過した維持期の方それぞれのリハビリを行っています。

リハビリテーションセンターは1995年に設置され、設置当初は理学療法士5名であったところ、現在は、リハビリテーション専門医1名、理学療法士49名、作業療法士17名、言語聴覚士8名、助手2名と個性豊かで豊富な人財を揃えております。

療法士はさらに、専門性に特化した資格の保有者が在籍しており、保有資格としては、3学会合同呼吸療法認定士8名、認定理学療法士（健康増進参加・代謝・脳卒中・管理）3名、日本予防医学会作業管理士1名、生活習慣病改善指導士2名、和歌山地域糖尿病療養指導士5名、日本糖尿病療養指導士2名などです。より質の高いサービスを提供できるように日々自己研鑽し、明るく、元気なチームワークで取り組んでいます。

早期、回復期、維持期それぞれのリハビリテーションを提供し、利用者さまの必要とされていること、張りのある生活が送れるよう共通の目標を持ち、利用者さまを中心に医師や看護師、療法士によるチームアプローチを行なっています。

また、県から2007年に地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受け、地域の健康講座や転倒予防教室へ講師を派遣し、予防事業にも積極的に参加しております。

キャッチフレーズは「からだと心に青空をとりもどそう」です。利用者さまが晴れやかな気持ちになり、喜んで頂き、地域で自立（自律）して豊かな生活が送れるよう、日々取り組んでいきたいと思っております。



ドライブシミュレーターの導入もしています。

【施設基準等】

脳血管疾患リハビリテーションⅠ

運動器リハビリテーションⅠ

呼吸器リハビリテーションⅠ

社団法人日本リハビリテーション医学会研修施設

日本温泉気候物理医学会認定医教育施設

日本作業療法士協会 作業療法士臨床実習指導施設

2016年度院内研究発表大会を開催

2017年3月2日(木) 18時30分より和歌山県情報交流センターBig-Uにて第16回院内研究発表大会を開催しました。来賓の方も含め268名に参加いただきました。

研究発表に先立ち勤続10年・20年の永年勤続表彰および研究業績表彰を行いました。表彰者は次の方々になります。



理事長より表彰授与

永年勤続表彰・研究業績表彰 被表彰者氏名

勤続10年

院長	谷口 友志	本館5階病棟看護補助者	岩本 有姫
小児科医長	古久保和洋	検査室臨床検査技師	石丸 倫代
外来看護師	宮路 典子	心理相談室臨床心理士	森口 浩司
本館3階病棟副主任看護師	北野 周一	リハビリテーション室作業療法士	宇井 隆人
本館4階病棟看護師	森 美智子	リハビリテーション室助手	中瀬 将明
南館5階病棟看護師	道浦 勝美	医事課事務員	峰本 大路
南館4階病棟准看護師	中井希永子	在宅介護支援センターケアマネジャー	松本 信子
南館3階病棟介護福祉士	大江 一樹	在宅介護支援センター看護師・ケアマネジャー	柴田みづほ
南館4階病棟副主任介護福祉士	坂本 昌孝	訪問看護ステーションたんぽぽ	副主任理学療法士
南館5階病棟介護福祉士	西屋 啓子		上田 康夫
南館5階病棟介護福祉士	高橋 里恵		

勤続20年

リハビリテーション室理学療法科科长
大西 智子

研究業績表彰

『関節リウマチ及び骨粗鬆症に対する治療ならびに臨床研究』
骨リウマチ疾患探索研究所 所長 小池 達也

研究発表



- 生活行為向上マネジメントの活用により農作業が部分的に可能となった症例 リハビリテーション室 小谷 澄也
- 患者を生活の場に戻すための地域包括ケア病棟における退院支援の有り方の検討 本館3階病棟 有田 早紀
- 地震発生後の状況から得られた課題 総務課 布袋 仁也
- 訪問看護における災害対策 訪問看護ステーションたんぽぽ 栗栖 順子
- 腎細胞癌に於ける超音波SMI法画像と造影CT画像の比較 検査室 東山 将治
- 当院で施行した前立腺生検63症例のデータから得られた知見 医局 木村 泰典

講演「臨床現場での患者・医療者満足度アップの為に ～臨床コーチングを取り入れた人材育成～」



講師 那智勝浦町立温泉病院 院長 山本 康久 先生

山本康久先生に医療の現場におけるコーチングやコミュニケーションについて講演していただきました。

コーチングは一人一人の能力を最大限に引き出すことであり、そのためにどうすればよいかというテーマで分かりやすくお話ししていただきました。

コーチングにおいては、その職員の自主性を高める、双方向性のコミュニケーションを行う、個性を大切にすることが大切だということでした。

また服薬指導の例においてはコンプライアンスという言葉は医療者側が主語であり、アドヒアランスは患者が主語、yesかnoで答えるクローズ型質問ではなくオープン型質問で質問し、その回答を承認することが患者参加型の治療につながっていくこと等お話ししていただきました。これからはコミュニケーション能力の高い人材が必要とされるとのことでした。

山本先生に講演いただいた内容を今後の臨床の場面に活用してまいります。山本先生どうもありがとうございました。

送迎サービスを行っています



シャトルバスは月～金曜日の
1日7往復で運航しています。

昨年の9月12日よりシャトルバス（はまゆう病院⇄白浜駅⇄西富田クリニック）の運行していない地域【旧白浜地域（瀬戸・白浜・湯崎・東白浜）】の患者送迎サービスを行っています。

送迎内容は、前日までに予約を取っていただきますと、ご自宅（又は、指定した場所）まで伺います。乗り合わせとなること、お待ちいただくこともありますのでご了承ください。また、事前に送迎サービスの登録（同意）が必要となりますとご案内しています。

対象となる方は、公共交通が不便で通院困難な方、家族等による送迎が困難な方、介護用車両ではありませんので自立歩行ができる方などとなっております。

運行日時は、月曜日から金曜日（祝日除く）の午前8時00分～11時30分までで、ご利用は無料となっております。

現在約60名の方がご利用いただいております。

限られた地区での運用となりますが、今後、対象地区、時間等を拡充することも検討しております。

是非、お気軽に白浜はまゆう病院・医事課（TEL：0739-43-6200）、受付でお問い合わせください。



和歌山県DMATロジスティクス研修を開催しました



屋外でのPC立ち上げ・ネット接続作業中の受講生



DIGでは和歌山県の被害想定をプロットし対策を検討します

1月21日(土)、紀南地方では珍しいほど厳しく冷え込む天候の中、当院にて第1回和歌山県DMATロジスティクス研修が開催されました。今回の研修には県庁医務課および県内DMAT指定医療機関よりDMAT業務調整員ら16名が参加しました。

“ロジスティクス”という言葉はあまりなじみがないと思います。DMAT(災害派遣医療チーム)と言われるロジスティクスとは、DMAT活動に必要な通信や移動手段、資機材を確保し、情報収集や情報発信、他機関との連絡・調整、医療職のサポート等を行うことと言われています。

研修では、屋外でのモバイルPC・プリンターの立ち上げやインターネット接続のスピードを競うロジスティクスラリー、衛星携帯電話(ワイドスターⅡ・インマルサットBGAN)操作実習、EMIS(広域災害救急医療情報システム)操作実習、DIG(Disaster Imagination Game、地図をベースに行う災害図上演習)を実施しました。

小規模研修のためタイムテーブルにしばられることなくひとつひとつの手技を全員ができるまで時間をかけて行うことができ、中身の濃い研修となりました。

災害時において診療がスムーズに行われるためにはロジスティクス業務が極めて重要です。今後も同様の研修を重ね、DMAT隊員のスキルアップを計っていきます。

白浜町役場と合同で災害時を想定した給水訓練を実施しました

2月2日(木)、白浜町上下水道課・住民保健課・危機管理室の協力のもと、地震による断水を想定した給水訓練を実施いたしました。

訓練では、院内災害対策本部を立ち上げ断水を確認したのち白浜町に給水を依頼、白浜町上下水道課は大浦配水池にて給水車に補水し、病院の本館および南館の受水槽に給水いたしました。

今回の訓練により、給水車の駐車位置から受水槽までの適切なルート、受水槽の給水口の開錠など、病院職員が習熟しておかねばならない課題がよく分かりました。

今後も白浜町との密接な連携を大切にし、断水になっても必要な量の水を確保し病院機能を維持できるよう努めていきます。



私たちが
おすすめする

カラダにいい とっておきレシピ

第27回

～春野菜とはっさくのサッパリサラダ～

寒い日が少なくなり、過ごしやすい季節がやってきました。はっさくと春野菜を使ったレシピを紹介します。

はっさくにはビタミンCが多く含まれており免疫力を高める効果がある他、食物繊維のペクチンが多く含まれている為、下痢や便秘も予防してくれます。



食養科 管理栄養士
古井 啓詞

～春野菜とはっさくのサッパリサラダ～



作り方

- ①新玉ねぎは半分に切り、薄めのスライスにし水にさらしておく。
- ②カブは薄いちょう切りにし、塩をあてておく。
- ③水菜は4、5cmに切る。
- ④ハムは食べやすい大きさのちょう切りにする
- ⑤はっさくは皮をむき中の薄皮もむき、一口大にする。
- ⑥①と②と③の水気をきり、④と⑤と合わせておく。
- ⑦⑤で出た汁と調味料を合わせ混ぜる。
- ⑧⑥と⑦を混ぜて、盛り付けたら完成。

材料(2人分)

水菜	100g
新玉ねぎ	50g
カブ	50g
塩	0.1g
ハム	40g
はっさく	300g(1個)

調味料(2人分)

オリーブオイル	20g
塩	0.4g
黒こしょう	少々
はっさくの汁	15ml

栄養価(1人分) エネルギー…225kcal
蛋白質…6.1g 脂質…13.1g
塩分…0.8g 食物繊維…4.6g

患者さま からの 声 Voice

- 家族が入院することになり、毎日シャトルバスを利用させてもらいました。本当に良かったです。ありがとうございました。
- 車いすマークのこの駐車場、もっと厳しくして下さい。みんな近くに停めたいです。玄関に立っている方も注意してほしいです。〇〇病院のように厳しくして下さい。

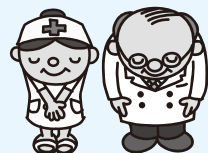
A

ご不便をおかけしており申し訳ございません。

身障者マークの表示のない車以外にも、足腰が不自由な方、車いすをご利用されている方、妊婦の方など車いす使用者用駐車場を必要とされる方もおられますので、厳しく注意を行うような事はしておりません。ただし、不適切な方のご利用がみられる場合には、本当に必要とされている方にお譲り頂けるよう職員からも注意を行わせて頂きます。

駐車場の管理に努めるとともに、ご来院される皆様にも譲り合いと適切なご利用にご協力頂けますようお願い申し上げます。

病院長



白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	内科1(初診)	午前	伊藤 揚 荘	松本 潤	岡 宏保	山下 泰伸	赤松 功博	高村 竜一郎
		午後	(当面の間、休診)					
	内科2(再診)	午前	岡 宏保		松尾 晃次	松尾 晃次		
		午後	中村 信男			岡 宏保		
	内科3(再診)	午前			山下 泰伸			
		午後		阪越／須原		山崎 幸茂	山下 泰伸	
	内科4(再診)	午前			赤松 功博			
		午後	松本 潤	木下 正博		中川 武正		
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚 荘	谷口 友志	伊藤 揚 荘	谷口 友志	
		午後		赤松 功博	谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科		午前	宮前 真人	宮前 真人	松本 辰也	宮前 真人	当番医	当番医
脳神経外科		午前				中北 和夫		
整形外科		午前	織田 一 貴	織田 一 貴	小池 達也	織田 一 貴	岩切 健太郎	
装具外来		午前		装具外来		装具外来		
小児科	午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
	午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋		
婦人科	午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也				
	午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
皮膚科	午前						県立医大	
	午後		県立医大					
眼科		午後			井上／井上		井村 良子	
耳鼻咽喉科		午後				県立医大		
循環器外来	午後	岡 宏保		中村(第1・3・5)				
	午後	中村 信男	阪越／須原	中村 信男	岡 宏保			
呼吸器外来		午前		松尾 晃次	松尾 晃次			
アレルギー・呼吸器専門外来		午後			中川 武正			
泌尿器科外来	午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当番医	
	午後	川嶋 秀紀		木村 泰典				
泌尿器科専門外来		午後		川嶋 秀紀		川嶋 秀紀		
神経内科・ リハビリテーション専門外来	午前	小口 健	廣西 昌也	中崎 繁明		中崎 繁明		
	午後	中崎 繁明	石口 宏		小口 健			
リウマチ外来		午前		小池 達也		小池 達也		
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚 荘		伊藤 揚 荘		
消化器専門外来	午前			谷口／山下		谷口 友志		
	午後			谷口 友志		谷口／山下		
循環器・高血圧専門外来		午前					担当医(月2回)	

※火曜日午後 内科3診…第1(阪越 信雄)/第3(須原 等)※眼科…第1・3・5(井上 晃宏)/第2・4(井上 貴久彦)
※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

2017.3.1～

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
循環器外来(月 第2・4水)	14:00～16:30	14:30～17:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付します ので、白浜はまゆう病院へ 電話でご連絡ください。
循環器外来(火)	13:00～15:30	13:30～15:30	
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
眼科(水)	13:30～15:30	14:00～16:30	
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00	



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院 長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク
■鮎 川 診 療 所
■日 置 診 療 所
■三 舞 診 療 所
■川 添 診 療 所
■訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン た ん ぽ ぽ

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678

TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005

TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192

TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001

TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037

TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682